

## 経過結果を報告するのは 礼節の問題



請願・陳情について 小林 剛議員

### 道路拡幅整備に係る請願・陳情件数

完了	27件
着手・継続中	21件
未着手・検討中	34件
総数	82件

(平成元年度から平成25年度まで)

**議員**

請願・陳情の経過や結果は、議会にだけ報告して、請願・陳情者には報告しないのか。お願いに来ているのだから、経過結果は報告すべきだと思うが。

**市長**

答えられる範囲で報告している。

**議員**

大塚戸の通学道路の陳情・請願は出してから23年経っている。対して農協の請願は2年前に出して2年後に完成している。何かあるのかと思ってしまう。

**道路課長**

支店統合で利用者が多いこと

と、用地買収しなくて済むということもあり、早急にできた。

**議員**

それは執行部の都合。子どもと命とどちらが大事なのか。

**市長**

当然子どもたちが優先だが、道路等については、すべて原則を通せるかは難しい。

**議員**

一般的に危険だからそれを直せばいいと思う。合併特別債を使って通学道路を直すよう要望を出したと思うが、どうなのか。

**市長**

特別債を使い、通学道路を最優先でやるという方針になっている。

**議員**

一回検討中だと言ったら10年も放置するのか。本当に検討しているのか。

**道路課長**

毎年、予算要求時に検討しているが、執行部全員が集まって検討しているわけではない。

**議員**

それは検討していないということだろう。お願いに来ている人に経過結果を報告するのは当然のこと。当然のことはやってもらいたい。



## 市長トップセールスで企業誘致を

少子化対策と人口減少対策は、自治体の未来を左右する一大事であり、積極的な取り組みに期待するが、その対応策は 中村安雄議員

討していく。

**市長**

③新たな産業拠点整備に全力をつくし、積極的に進めていく。

**議員**

子育てがしやすく、雇用のあるところは人口減少が少なくて済む。人口減少で将来的には自治体がなくなると言われるくらい大変な時期に入ってくる。坂手工業団地についても雇用が生まれるような企業の誘致が大事である。これはトップの仕事であり、市長にはその意気込みをもって努力してもらいたい。

**市長**

少子化対策は最重要課題である。小児医療、教育、雇用の場の整備拡大に向けてトップセールスで頑張っていきたい。

**企画部長**

①多くの企業が立地すれば雇用が生まれるが、いかにして定住人口を獲得するかが重要である。未利用地を有効活用し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備するなど、様々な施策を複合的に推進して、人口流出の抑制と人口増加を図りたい。

**都市建設部長**

②坂手工業団地については、地区計画の決定を進めている。

産業拠点整備課では、進出企業の負担軽減のため、事前に必要な情報を提供していく。石下古間木地区については、農地の保全に努める区域であるが、必要な施策や企業誘致等について検

